

麻生区エコカルテ

～身近なエコについて考えよう～



麻生区区民会議

麻生区エコカルテ

麻生区区民会議委員長ごあいさつ

麻生区エコカルテの作成にあたって

第2期の麻生区区民会議では、世界的に大きな課題となっている地球温暖化問題について検討する中でエコに関する参考資料作成が提案され、その結果「麻生区のエコカルテ」が作成されました。

川崎市の中で自然環境に恵まれているといわれる麻生区でも、その環境には大きな変化が見られます。

この資料は、区民が温暖化防止に寄与するための行動を起こす参考として活用され、エコの輪が広がることを願って作成したものです。この企画、制作には、区民会議の環境部会が担当しました。

対象は、次世代を担う子どもに焦点を合わせ、なおかつ中学生から大人でも環境教育に活用できるようにしました。特に麻生区の環境に関する基礎データと、麻生区に於ける身近なエコの取組事例を紹介することで、誰もがエコの取組がより身近に実践できる手がかりとなるようにしました。活用されることを期待いたします。

麻生区区民会議委員長 西谷明子

麻生区エコカルテの使い方

■考え方

麻生区エコカルテは、小学生をはじめとしたみなさまにエコについて考えていただくきっかけになるためのデータ集として作成しました。

このため、麻生区エコカルテでは、「麻生区の現状」、「エコに係わる取組状況」、「エコについて考えてみる」と3つの視点で構成されています。

- 麻生区の現状・・・1. 麻生区における温暖化の状況
2. 麻生区における自然環境資源
- エコに係わる取組状況・・・3. 麻生区内のエコの取組状況
4. 地域別にみたエコの取組状況
5. エコの事例紹介
- エコについて考えてみる・・・6. エコにチャレンジ

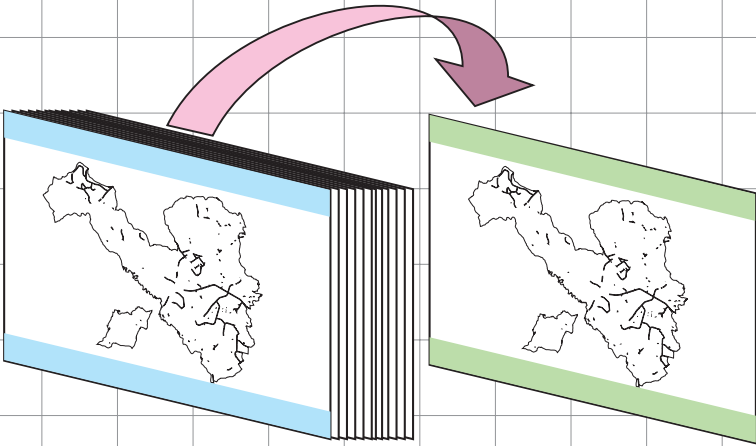
小・中学校や市民館等の環境学習にお役立てください。

■使い方

- ・データはCDに保存してありますので、
 - ① 麻生区エコカルテは、必要なページだけをプリントアウトして使うことができます。
 - ② また、プロジェクターで投影しても使えます。

<使用例>

- ・麻生区のエコに関する基礎データ集として、
- ・あるいは、エコに関する事例調査のためのヒント資料として



麻生区エコカルテ 目次

麻生区エコカルテ

- ・麻生区区民会議委員長ごあいさつ
- ・麻生区エコカルテの使い方

1. 麻生区における温暖化の状況

(1) 気温	1
--------	---

2. 麻生区における自然環境資源

(1) 農地、緑地の状況	2
(2) 農地、緑地の統計	3
(3) 緑地施策別状況	4
(4) 水資源の状況	5

3. 麻生区内のエコの取組状況

(1) 区民の取組/住宅用太陽光発電	6
(2) 企業・行政の取組/自然エネルギーの活用	7
(3) 家庭におけるごみの減量化	8
(4) リサイクルエコショップ・レジ袋協定店	9
(5) 自然保護、自然との共生の取組	10
(6) 食と農業	11

4. 地域別にみたエコの取組状況

(1) 西生田中学校区（西生田小学校、百合丘小学校）	12
(2) 金程中学校区（千代ヶ丘小学校、金程小学校）	13
(3) 長沢中学校区（長沢小学校）	14
(4) 麻生中学校区（麻生小学校、南百合丘小学校）	15
(5) 柿生中学校区（東柿生小学校、岡上小学校）	16
(6) 王禅寺中央中学校区（真福寺小学校、王禅寺中央小学校、虹ヶ丘小学校）	17
(7) 白鳥中学校区（柿生小学校、片平小学校、栗木台小学）	18
(8) はるひ野中学校区（はるひ野小学校）	19

5. エコの事例紹介

〈自然エネルギーの活用〉	
(1) 太陽光発電/麻生区役所施設	20
(2) 風力・太陽光発電/駅舎設置施設	20
(3) 小水力発電/水道源水の活用	20
(4) 小水力発電/農業用水の活用	20
(5) 小水力発電/水道水の活用	21
(6) 小水力発電/下水処理水の活用	21
(7) 太陽熱利用/温水・温風利用エコ住宅	21
(8) バイオマス（生物由来資源）/ペレットストーブによる暖房	21
〈省エネルギー・節水〉	
(9) ごみ焼却熱（余熱）利用/ヨネッティー王禅寺	22
(10) 緑のカーテンによる冷房節電/麻生区役所	22
(11) 雨水利用による節水/雨水タンク設置住宅	22
〈交通・運輸〉	
(12) 省エネルギーバス等/アイドリングストップバスとかわさきエコドライブ宣言	22
(13) 自転車共同利用/自転車シェアリング	23
〈緑と農〉	
(14) 森の再生/植樹運動	23
(15) 市民による森の保全/多摩美健康の森での取組	23
(16) 森林の保全を考える/割り箸から、ぬり箸へ	23
(17) 農地活用による緑地保全/市民農園	24
(18) 地産地消と資源循環/麻生区区民会議の取組	24
〈廃棄物の減量とリサイクル〉	
(19) リサイクル施設/リサイクルパークあさお	24
(20) ごみの減量/レジ袋削減調査	24
(21) ごみの減量/自治会によるペットボトルと缶の回収の工夫	25
(22) ごみの減量/食料品などの共同購入による3Rの実践	25
(23) 生ごみリサイクル/市民と農家の交流で	25
(24) 生ごみリサイクル/ダンボールコンポストで	25

6. エコにチャレンジ

■探してみよう身近なエコ	26
■エコなものナゾナゾ	27
■エコクイズに挑戦	27

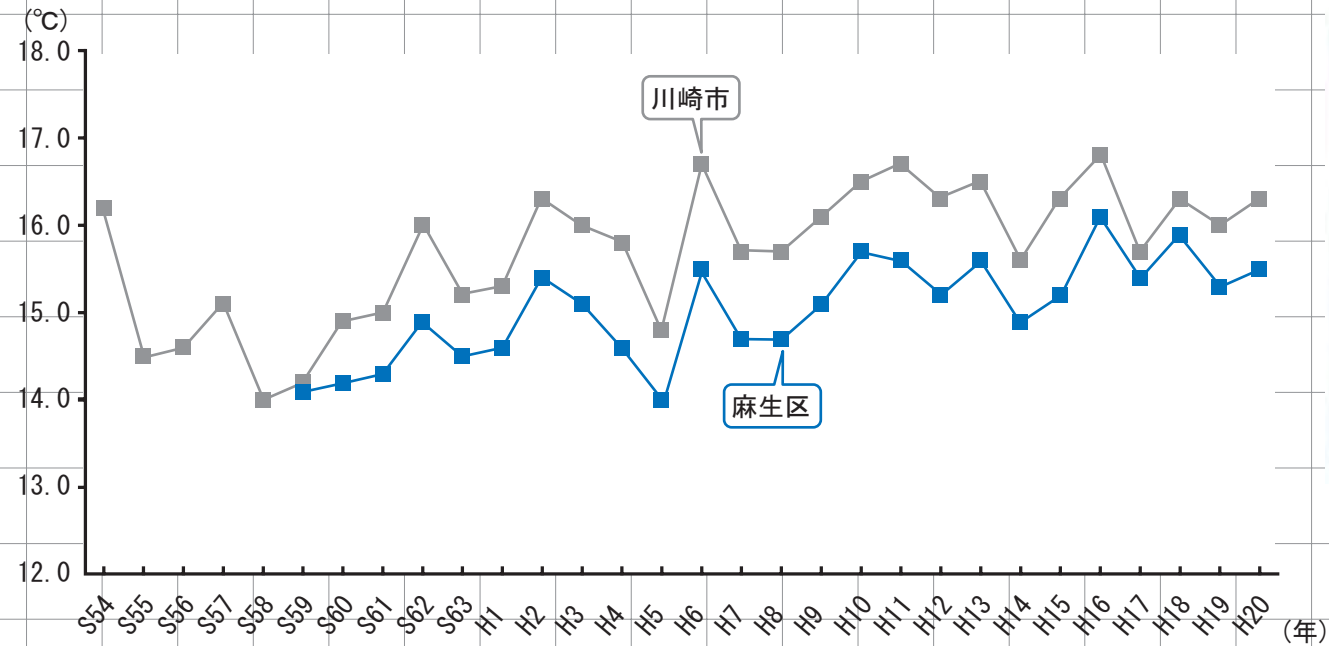
1. 麻生区における温暖化の状況

(1) 気温

麻生区は、川崎市の平均や市南部地域と比べて比較的気温が低くなっている。麻生区の位置や緑の分布などから、なぜ気温が低いのか考えてみよう！

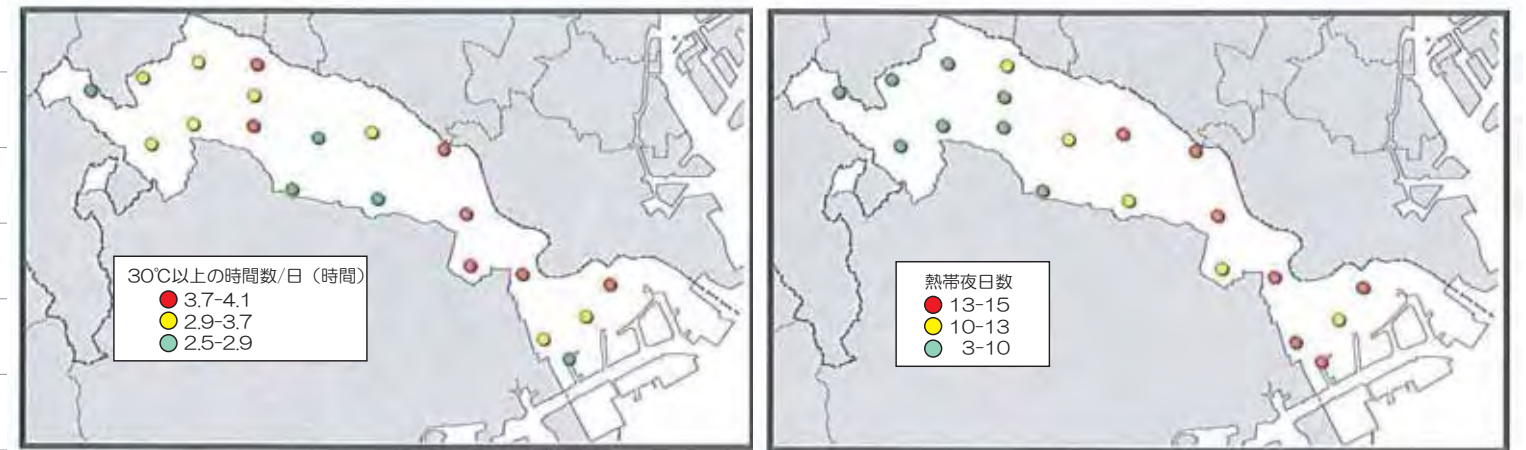
① 平均気温の変化

・グラフの右が年々高くなっていることがわかる。これから、麻生区、川崎市とも平均気温が上昇していることがわかる。昭和59年～平成20年の麻生区と川崎市の平均気温を比較すると、各年とも麻生区が低くなっている。



② ヒートアイランド現象の実態 (平成18年度)

・1日に30℃以上になる時間は、主に多摩川沿いの内陸部で長くなっている。一方で熱帯夜の日数は、臨海部寄りが多くなっている。

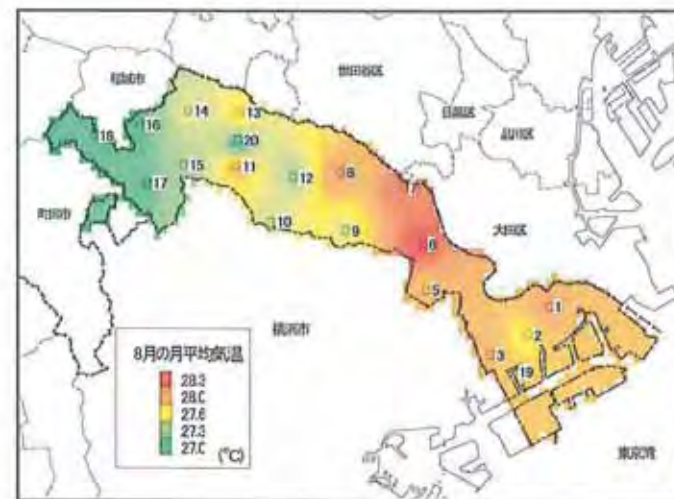


30℃以上の延べ時間/日

熱帯夜日数

③ 8月の平均気温分布 (平成17年度)

・川崎市では、北部にいくほど気温が低く、南部にいくほど高くなることわかる。



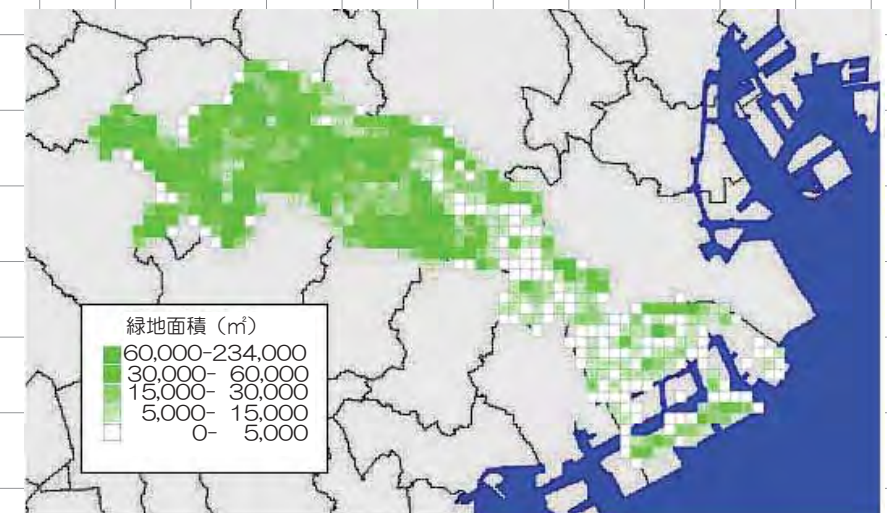
④ 1日の気温変化量 (平成17年度)

・麻生区は、日中の気温も夜間の気温も低い丘陵型の地域にある。



⑤ 緑地面積 (平成13年度)

・川崎市は、北部にいくほど緑が多くなる。北部にある麻生区は、川崎市の中で最も緑地面積の多い区である。



2. 麻生区における自然環境資源

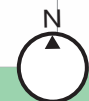
(1) 農地、緑地の状況



・平成2年にあった農地、山林が平成17年になるとたくさんなくなっています。私たちが住んでいるまちの歴史を調べると、農地、山林だったときの名ごりがみつかるとよ。



さて、私は誰でしょう？
(答え：)



0 500 1000 2000 3000m

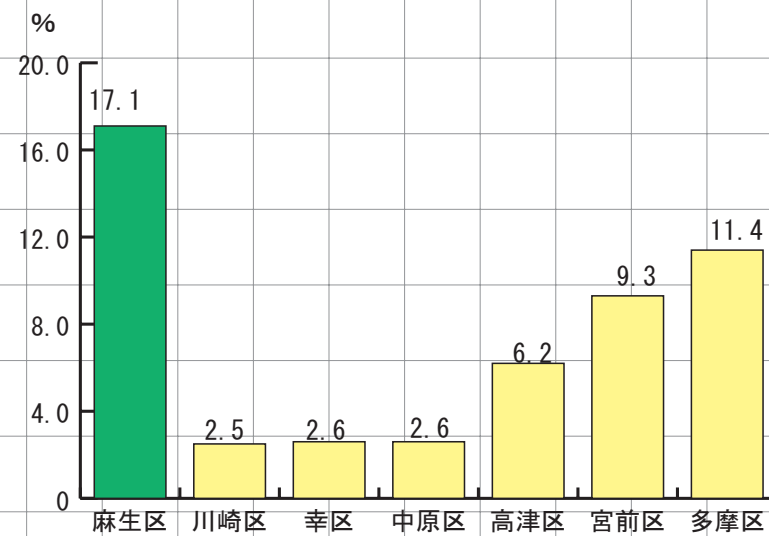
2. 麻生区における自然環境資源

(2) 農地、緑地の統計

・公園面積は、多摩区に次いで2番目ですが、農地・山林が多いのが麻生区の特徴です。

① 樹木の集団（区域に占める割合 [300㎡以上の緑の塊]）

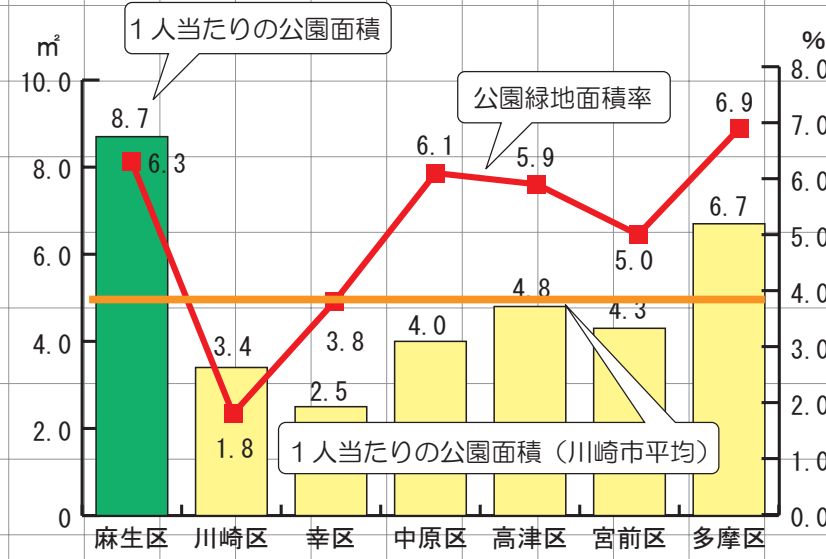
・麻生区の区域に占める樹木の集団の割合は、17.1%で、川崎市の中で最も高くなっている。身近な緑を探してみよう。



資料：川崎市みどりの基本計画（平成20年）

② 1人当たりの公園面積

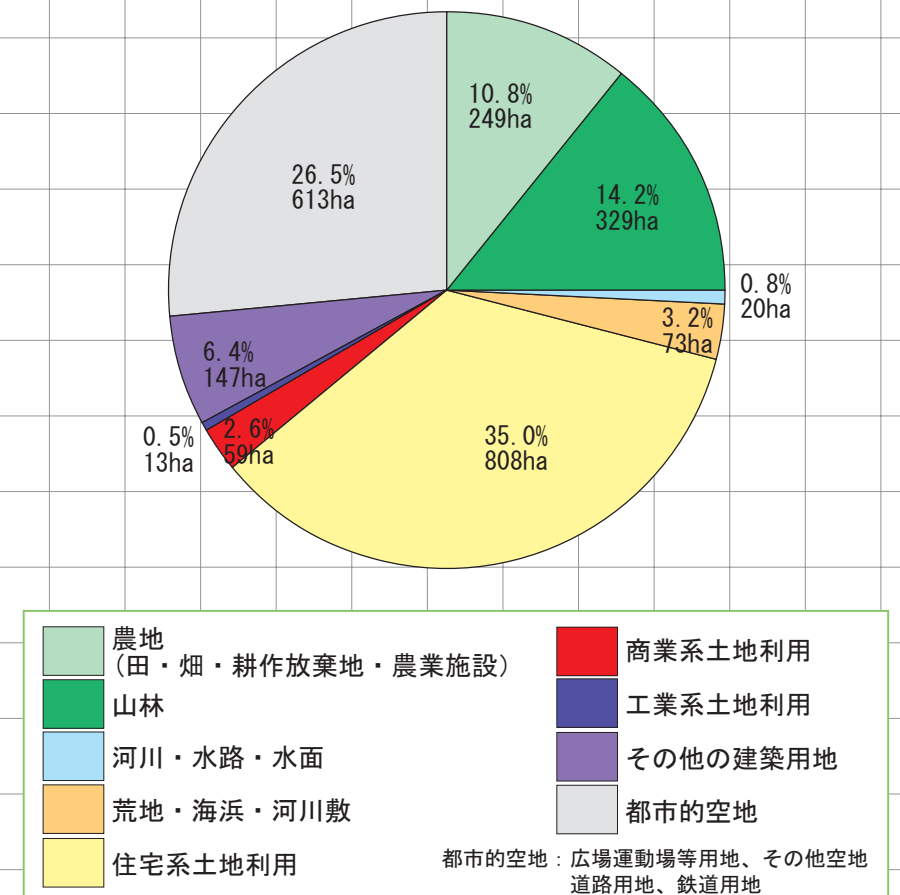
・区に占める公園緑地面積率をみると、多摩区の6.9%が最も高く、次いで麻生区の6.3%となっている。
・しかし、麻生区の1人当たりの公園面積は、8.7㎡と川崎市7区の中で最も高くなっている。



資料：川崎市みどりの基本計画（平成20年）

③ 土地利用分類別の割合（麻生区）

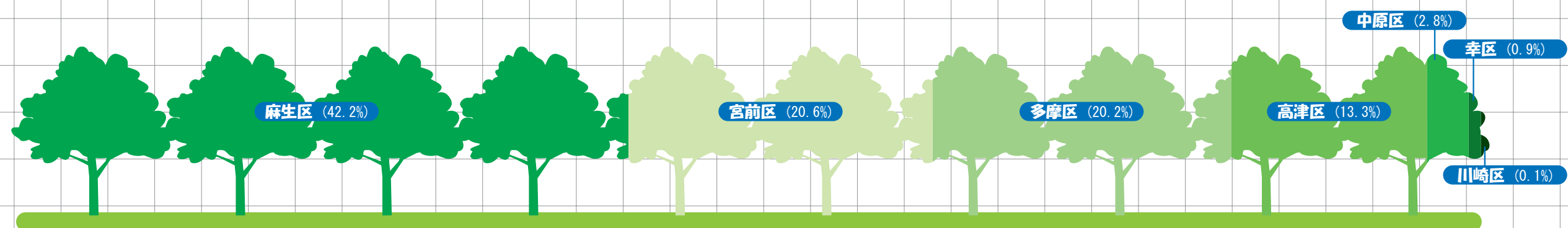
・麻生区は、住宅系の土地利用に多く占められ、商業、工業系の土地利用が少ないのが特徴です。
・どうして、麻生区の土地利用がこのような特徴になっているか考えてみよう。



資料：かわさき都市計画川崎市の土地利用現況平成17年度調査結果

④ 川崎市における各区の農地、山林が占める割合

・川崎市のすべての農地、山林のうち、42.2%と麻生区に最も多くある。
・農地、山林について麻生区と他の区の状況を比較し、麻生区に、なぜ川崎市全体の5割近くの農地、山林があるか考えてみよう。



資料：川崎市みどりの基本計画（平成20年）

資料：かわさき都市計画川崎市の土地利用現況平成17年度調査結果
川崎市みどりの基本計画（平成20年）

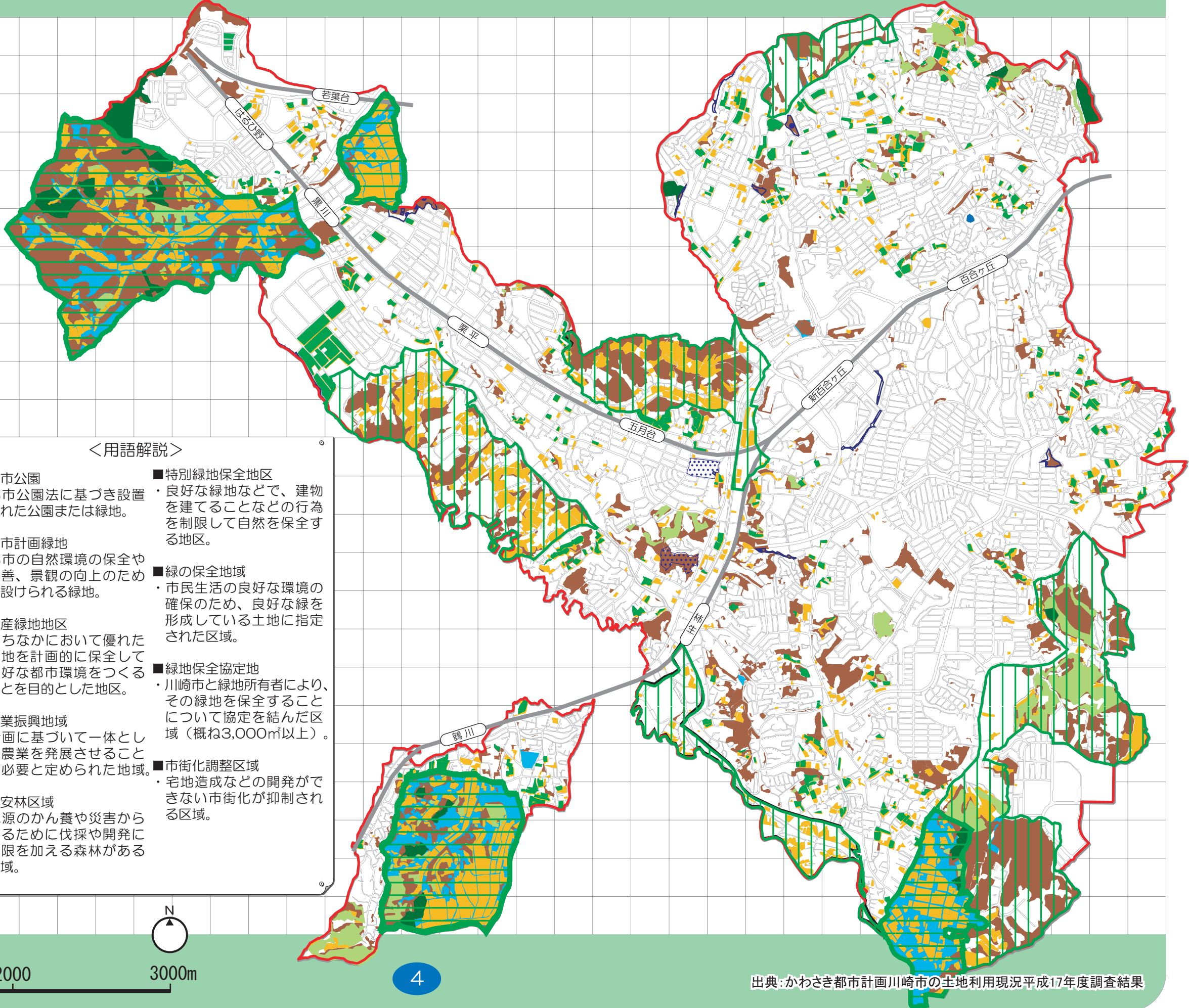
2. 麻生区における自然環境資源

(3) 緑地施策別状況

- ・川崎市で最も農地や山林が多い麻生区ですが、これらは、いろいろな緑化施策で守られています。
- ・規制だけで緑は守られるものではないので、私たち一人ひとりが意識して大事にすることが重要です。



さて、私は誰でしょう？
(答え：)



<用語解説>

- 都市公園
・都市公園法に基づき設置された公園または緑地。
- 都市計画緑地
・都市の自然環境の保全や改善、景観の向上のために設けられる緑地。
- 生産緑地地区
・まちなかにおいて優れた農地を計画的に保全して良好な都市環境をつくることを目的とした地区。
- 農業振興地域
・計画に基づいて一体として農業を発展させることが必要と定められた地域。
- 保安林区域
・水源のかん養や災害から守るために伐採や開発に制限を加える森林がある区域。
- 特別緑地保全地区
・良好な緑地などで、建物を建てることなどの行為を制限して自然を保全する地区。
- 緑の保全地域
・市民生活の良好な環境の確保のため、良好な緑を形成している土地に指定された区域。
- 緑地保全協定地
・川崎市と緑地所有者により、その緑地を保全することについて協定を結んだ区域（概ね3,000㎡以上）。
- 市街化調整区域
・宅地造成などの開発ができない市街化が抑制される区域。

凡 例

- 都市計画緑地 (2.0ha以上)
- 生産緑地地区
- 農業振興地域
- 保安林区域
- 特別緑地保全地区
- 緑の保全地域
- 緑地保全協定地
- 市街化調整区域 (農業振興地域を除く)
- 山林 (上記の山林保全を除く)
- 農地 (生産緑地地区を除く)

0 500 1000 2000 3000m

2. 麻生区における自然環境資源

(4) 水資源の状況

- ・麻生区には、9つの河川があります。これらの河川は、多摩川に流れていく「多摩川水系」、鶴見川に流れていく「鶴見川水系」に分けられます。
- ・湧き水や井戸は、区のいたる所にあり、一部は災害用井戸に活用されています。



さて、私は誰でしょう？
(答え：)

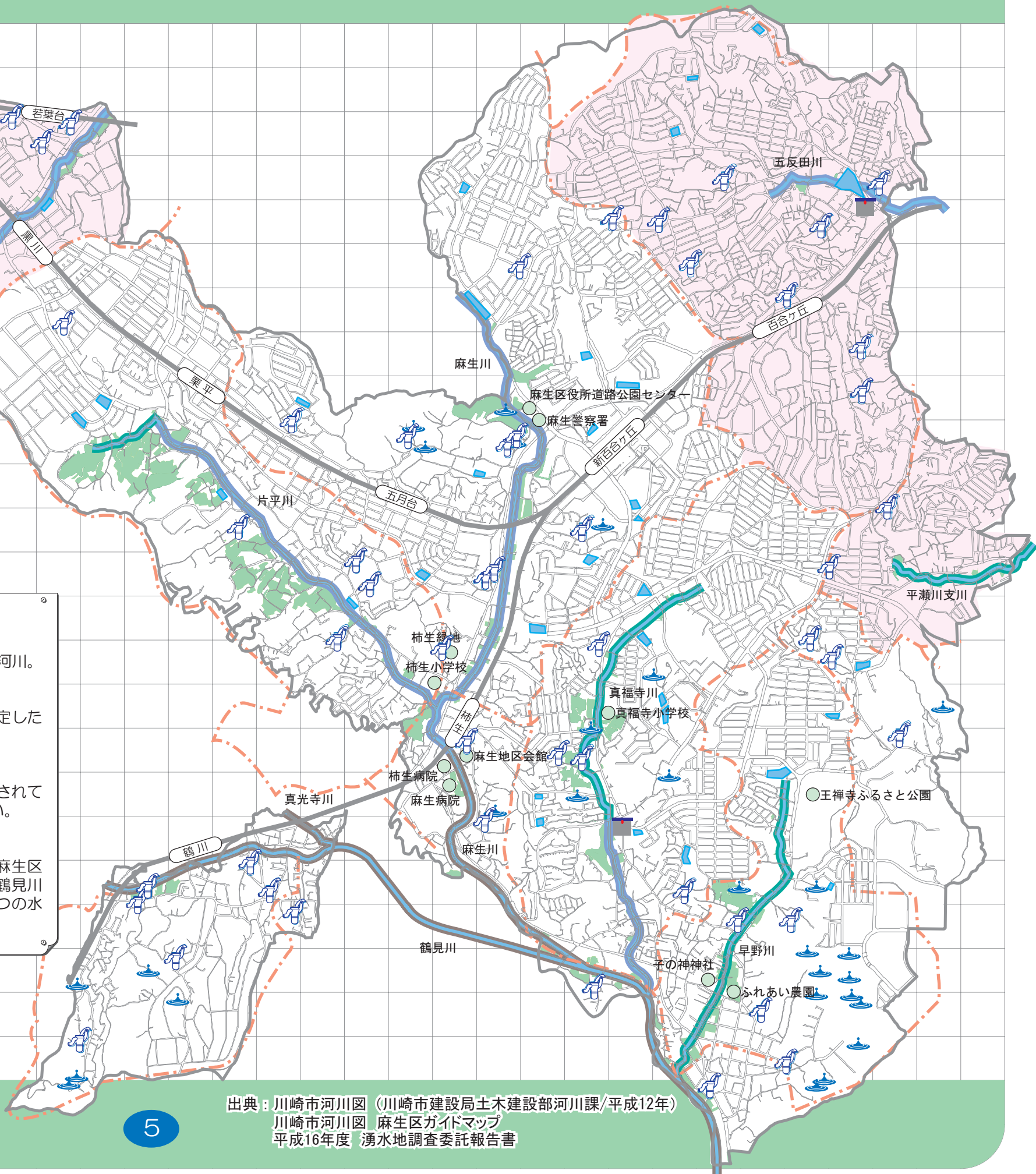
凡 例

- 一級河川
- 準用河川
- 普通河川
- 流域界
- 多摩川水系
- 鶴見川水系
- 河川隣接緑地等※
- 河川周辺の主な施設
- 水防倉庫
- 調整池
- 災害用井戸
- 湧水

<用語解説>

- 一級河川
・一級水系に係わる河川で、国土交通大臣が指定した河川。
- 準用河川
・一級河川及び二級河川以外の河川で市町村長が指定したもの。
- 普通河川
・一級河川・二級河川・準用河川のいずれにも指定されていない、公共の水流。河川法は適用・準用されない。
- 流域界
・川が雨水や雪等の降水を集めている範囲のこと。麻生区では多摩川水系（三沢川、平瀬川、五反田川）、鶴見川水系（片平川、麻生川、真福寺川、早野川）の2つの水系で流域が分かれる。

※河川隣接緑地等…河川に隣接する農地、林地、公園などを抽出したもの



出典：川崎市河川図（川崎市建設局土木建設部河川課/平成12年）
川崎市河川図 麻生区ガイドマップ
平成16年度 湧水地調査委託報告書